

25. ^{131}I - T_3 -Resin Sponge Uptake による

甲状腺疾患の診断

第3報 治療効果判定に対する応用

木下文雄<放射線科>

○安田三弥 桐生恭好 荒井寿朗<内科>

(都立大久保病院)

^{131}I およびメルカゾールによる甲状腺機能亢進症の治療後のRSU値の変動を検討し次の結果をえた。

1) ^{131}I 治療後、臨床的に甲状腺機能が正常に復したと思われる時期においては89%の症例においてRSUも正常値を示す。これはこの時期において、 ^{131}I 甲状腺摂取率では正常値を示すものが55%に過ぎないことと比し、RSUの治療効果判定に対する有用性を示すものである。

2) ^{131}I 治療後、RSU値の変動様相は次の5型に分けられる。すなわちⅠ型はほぼ2カ月以内に正常値に復し、以後そのまま正常範囲内にとどまる型でこれがもっとも多く、Ⅱは2~5カ月後に一時低値を呈した後正常範囲に復する型。Ⅲは一時正常範囲内に復しながら数カ月後高値を呈し臨床的にも機能亢進再発の徴を示して再治療を要するもの、Ⅳは2~3カ月以後正常よりやや低値にとどまりながら臨床的には正常機能状態を保つもの、Ⅴは一時正常範囲内に復した後、正常よりやや高目の値を保つ型である。

3) ^{131}I 治療後3カ月以上経てもなおRSU値が正常範囲より高い場合は再投与の必要ある場合が多い。

4) 治療量 ^{131}I 投与後1~2週間ではRSU値は投与前よりかえって高値を呈する場合が多く、4週以上を経ではじめて大多数の例において投与前より低値となる。

5) メルカゾールによる甲状腺機能亢進症の治療後、 ^{131}I -甲状腺摂取率は臨床所見の改善にもかかわらず高値を呈することが多いのに比し、RSU値は臨床所見の改善に伴ない正常化するものが多い。

質問：木村和文(大阪大学阿部内科) ^{131}I -therapy後1週、2週等短期間後の T_3 -resin sponge uptake 測定の際の治療量の ^{131}I の影響をいかにして除外されたか。生体内で標識された ^{131}I - T_4 または ^{131}I - T_3 がresin spongeにも吸着されるのでは？。

答：安田三弥 治療量 ^{131}I 投与直後の患者血清につき ^{131}I - T_3 を加える前の血清にスポンジを入れて、スポンジへの吸着をみたところ、5%以下の少量しか吸着されなことがみられたので、以後は血清中のカウントをバツ

ク・グランドとして処理している。

*

26. 産婦人科領域における Triosorb

Test の使用経験(続報)

藤森速水 山田文夫 木下 博 森村正孝

米川和作 田川哲生 川口貞之 川畑 治

(大阪市立大学産婦人科)

甲状腺の内分泌的意義、ことに産婦人科学領域における重要性はいまさら論ずるまでもなく、またその検査法も種々あるが核医学の発展に伴ないその方面の知見も大いに進展をみせている。その1つ triosorb test に関してわが教室より前回の核医学会で当初の成績を発表し産婦人科における応用性を指摘したが、今回はさらにひきつづき実施しえた本法の成績を発表する。成績内容は約400検体について行なったものである。

1) 基礎体温高温相時のRSU平均値は $29.5 \pm 1.9\%$ 、低温相時の平均値は $28.1 \pm 1.2\%$ 。2) 更年期婦人を有経者と閉経者に分けてみると前者のRSU平均値 $29.4 \pm 2.4\%$ 、後者の平均値は $29.1 \pm 1.6\%$ である。3) 正常妊娠例では第2カ月、第3カ月ではその後の第4カ月から10カ月までのRSU平均値に比較して高い値を示している(第2カ月RSU平均 $27.1 \pm 1.75\%$ 、第7カ月 $20.3 \pm 1.80\%$)、分娩後第1日より第5日までではRSUは低値を示すが、分娩後1カ月では大体正常値を示している。不妊症では原発性のRSU平均値が $28.7 \pm 0.96\%$ 、続発性不妊症の平均値は $29.5 \pm 1.00\%$ であった。12例の子宮頸癌患者について β -tron, X線照射前後の尿中総エストロゲン量と triosorb 値の変動をみたが両者の間に相関関係は認められなかった。

*

27. ^{131}I - T_3 Resin Sponge Uptake の

手術前後の変動について

綿貫重雄 窪田博吉

水鳥川和美 ○高井 満

(千葉大学綿貫外科)

各種甲状腺疾患の機能検査法として、また外科的治療による効果判定ならびにTBCの術後変動の有無をみる目的で triosorb diagnostic kit を用い ^{131}I - T_3 resin sponge 摂取率の測定を行なった。

手術例については、術前、術直後、術後1日、3日、5日、7日目と一定間隔で採血し、測定した。